

## 第4回ユニセフ熊本SDGs実行委員会

高須大使 Zoom で参加

2022年11月12日(土)14:00~16:00

ユニセフ事務局と Zoom(ハイブリッド形式)

### 1) 世良副会長 挨拶

文化祭等秋のイベントや学校行事で忙しい中、集まってくれて嬉しい。

各グループでミーティングや企業への見学など積極的に動いてくれて12/9に向けてのより良い発表を目指してくれていると思う。

昨日インドネシアから帰国されお忙しい中、今日の会議に Zoom で参加していただく高須大使をお迎え出来て感謝している。

NPO 法人で人間の安全保障プロジェクトチーム理事長で国連の事務総長特別顧問、日本ユニセフ協会副会長でもある高須大使のお話をお聞きしたい。有難い大切な時間を共有したい。

### 2) 保田事務局長 今までの経過

2020年一昨年からコロナの感染者が急激に増え、「アフリカの子どもの日」を断念して12月にシンポジウムという形で Zoom のハイブリッド形式で開催した。

高校生中心にSDGsの学びを始めて岡留恒健さんの本をグループで読み解いて、温暖化、豪雨災害、森林火災等地球で起きている災害について学び、経済・環境・教育のグループに分かれてシンポジウムを開いた。

このシンポジウムでの宣言文を県知事、市長に表敬訪問して発表し意見交換会をすることができた。この活動を続けていきたいという思いから、ユニセフ熊本SDGs実行委員会が始まった。

2021年のシンポジウムではエネルギー・環境・食糧のグループに分かれて話し合わせ、11月には多くの人に温暖化やDDGsのことを知ってもらいたいと街頭キャンペーンパレードを開催した。

今年7月の「アフリカの子どもの日」は3年目にリアルで開催でき、9月から3期目の実行委員が頑張って準備してくれている。

学校の授業が忙しい中、今日で4回目の実行委員会で、今回は課題を、温暖化・リサイクル・住みやすいまち・ジェンダー・幸福度にグループ分けしてそれぞれ話し合いが行われている。

### 3) 生徒のグループ別発表

#### ① 温暖化 K.K北高校)

氷山が溶けることで海面上昇が1m未満になる。これはCO<sub>2</sub>排出をやめても地球が正常に機能するのは数百年の遅れがでる。

赤道付近で1℃上昇は極地方では3℃もの上昇となり深刻だ。海面上昇が19センチ上がったフィジー共和国は土地が狭くなり高潮被害がひどく作物の育ちも悪くなった。土地を追われた難民が発生し激しい洪水の災害、被害が増えている。

海は大気中のCO<sub>2</sub>を吸収するため酸性化によりサンゴが白くなり、プランクトンに悪影響を与え、水産資源の減少、観光資源の減少に繋がり、魚の漁獲量が減ることで食糧不足にもなる。

水不足で農地の干ばつ化が進み、中東アジアでは深刻な食糧不足になって暴動も起きている。

生物の生息地域での絶滅危惧種が急速に増えていて砂漠とびばったの大量発生も深刻だ。

他の被害状況や企業対策も調べたい。

② 永野商店 A.I(第一)

発泡スチロール・ビン・缶・古紙・ペットボトルの回収とリサイクルを行っている。  
ペットボトルを圧縮して1トンの塊にしてそれが一日に6個出来るそうだ。(24万本)  
アルミ缶1トンは一日に2個出来る。

一日に7500本の一升瓶を手作業も交えて洗浄している。年間紙は5～6万トン、産廃物は2000トンにもなる。

廃棄物に対する世の中の意識が高まっているので分別が厳しくなっている。

生ごみは水を減らす努力をしなければ燃料時に多くの時間と燃料費がかさむ。

廃棄物の量が想像をはるかに超えて大量だったので、自分の目で見たことを人に伝えていかなければならないと思った。

③ 住みやすいまち S.F(第一)

Zoomによる会議を開催した。理想とするまちはどんなまちか！シンポジウムに向けてどんなことを考えているか話し合った。

1) 人と人とのつながり 子育てしやすいまち

地域の行事を活発にさせたい！

児童館を利用する保護者やそこで働く職員の話を知りたい！

2) 交通渋滞をなくす 熊本の道路は渋滞しやすい(道路事情が悪い)

市内→バス・電車 発達している(便数が多い)

郊外→不便(便数が少ない)

自家用車はCO<sub>2</sub>排出するのでなるべく公共交通機関を利用したい。

(そのためには交通機関の充実)

3) 安心・安全な生活 いつ起こるか分からない災害を考えるべき

→行政の取り組みについて話を聞きたい

山都町東竹原 産廃物処理場建設問題

→計画進んでいるが地域の人の意見や思いを知りたい(企業も聞いてみたい)

④ ジェンダー T.R(大津高)

2つのテーマについて話し合った

1) 学校でのジェンダー問題

制服 髪型 男らしさ・女らしさにとらわれない生き方(強要されない)

性的マイノリティーに対して周囲が配慮すべきこと

性別により進学や浪人や就職への進路の違い

ステレオタイプ(固定観念や思い込み)や偏見

学校の問題点を調べたい

千原台の校長先生の話聞きに行く(ジェンダーレスの制服や髪型について)

2) 社会的ジェンダー問題

YWCA(キリスト教を基盤とした世界の女性団体)人権・健康・環境が守られる世界を目指す

○ジェンダー委員会 問題や課題について話し合う

○ジェンダーカフェ 皆が安心して自分の意見を出し合える場所

価値観や多様な見方について講師を呼んで話を聞く

- カラフルベース 第一土曜日に性的マイノリティーの集いを開催して考えていることを出し合う
  - 3/8 国連ウィメンズマーチ熊本
  - 熊大の留学生のサポート(竹屋さん)
- バイヤス・ゆがみ 問題意識として取り上げる  
 マイノリティーへの偏見をなくしていきたい  
 色んな会合を訪問したい 給与格差も質問したい

⑤ 幸福度 M.Y(第一)

- 人によって幸福度に対する考え方が変わる  
 その人の性格・生活について 27 項目のアンケートを取りたい  
 3 校の学校に協力いただいて 1000 人対象に実施したい(どこと比較するかが課題)  
 身体的幸福度は高いが精神的幸福度は低い  
 自己肯定感が低い→周りに頼れないのが原因では？

⑥ リサイクル 野元優歩・志水杏菜(ルーテル)

- ソープケース 長崎県小値賀島に漂流してきたプラスチックのかげらを固めて作った
- くま川鉄道の水没切符 アーティスト渡邊義紘氏が切り絵でデザインしたもの  
1 枚 3000 円で 110 万の売り上げがあった  
アップサイクルの考え方！
- ブルーシート 熊本地震や人吉豪雨災害で使用されたブルーシートを回収して洗浄縫製してバックや小物入れやコサージュ等に加工  
オンラインストアで販売 売り上げの 20%寄付  
色んな企業ともコラボして商品にロゴを入れる

4) 高須幸雄氏 講話

何のための SDG s かということを知っておいてほしい！  
 SDG s について基本理解を共有しておきたい  
 17 の目標は理念達成のための道筋である  
 国連で採択された「アジェンダ 2030」  
 どういう社会を目指すのか→誰も取り残されない社会・環境・経済によって形成されている。  
 全ての人の命・生活・尊厳が実現されなければならない！  
 最も取り残されている国、地域に最初に手を差しのべなければならない。  
 自分達だけではなく子ども、子孫、次世代にも人間らしく住む世界を作っていかなければならない  
 誇りや自信が持てる、国の防衛により守られてこそその世界  
 一人一人の SDG s では足りない 熊本全体の平均ではいけない 一つ一つの地域を考える(地元)  
 問題点について何がいけないのか？活動している人の声を聞く！自分に何が出来るか考える！  
 持続可能性→1, 2, 6, 7, 8, 9, 11, 12, 13, 14, 15  
 一人一人の尊厳→3, 4, 5, 10, 16, 17 (健康・ジェンダー・平等・平和)  
 熊本県は尊厳指数低い(28 位) 社会的連携性強い自己充足度はやや高い 健康寿命低い

優先課題→積極的な男性の家事・育児分担時間の向上 女性の地方議員数増加(政治参加)  
健康保険料滞納割合の減少 里親委託率の改善 国際支援団体への寄付人数の増加  
自分の人生について 満足しているか? 誇りに思うか? 生きがいあるか?

この質問に「何にもない」人が一番多かった! ショック!!

自己肯定感がない 孤独で自立しているならいいが辛いのはいけない

住みやすいまちづくり(実行委員会活動目標)

1 1 1 2 1 3(ハード面) 環境・リサイクル・インフラ・交通機関

5 4 1 6(ソフト面) やさしいまち・幸せ

住みやすいまちづくりのためにはどうしたらいいか?

熊本全体ではなく地域課題として考える!

日本の子どもの精神的幸福度

○子どもの学力は競争原理による一斉主義 学力は良いが精神的幸福度は下から2番目ショック  
競争で自分の価値がなくなる

○いじめの問題 自殺(世界からすれば珍しい)

○子どもの家庭の経済状況

日本は控えめな性格が多い→どうやって自己肯定感高めるか? 自分にとって何が大切か?

子どもの権利条約→良い学校生活を送るために必須のもの

○生きる権利 ○育つ権利 ○守られる権利 ○参加する権利

グループ学習

知る(課題について学んだこと、調べたことを知る)

選ぶ(何を中心にやっていくかを選ぶ)

考える(調べたことを自分の頭で考え自分の言葉にする)

説明する(他の人に分かりやすく理解してもらえるように説得力を身につける)

行動する(発表しておしまいではいけない! どんな小さなことでもやるべきことを見つけたら

身近な、自分に出来ることから行動する)(マイボトル・エコバック持参など)

『SDGs と地域社会』 あなたのまちで人間の安全保障指標をつくらう!

誰も取り残されない地域社会を作るために地域の事情・特色に沿って地域ごとの指標を作っては?

## 5) 感想・質問

T.R) ジェンダーグループで男女間差別、格差、高齢者問題等も調べていくうえでどういうことに  
気を付ければいいのか?

高須) 高齢者問題等あまり間口を広げないで今取り組んでいる学校と社会のジェンダー問題に絞って  
はどうか?

社会的な部分で男性の家事負担が少ない! 女性の政治参加少ない!(男性だけで決めて良い  
のか?) 防災で被害女性多かった(女性の声が聞こえているか?)

女性の正規雇用少ない 賃金格差大きい 市や県の改善策は? 等

M.Y) 幸福度について主観的質問のアンケートをしている。客観的情報が必要と言われたがどうい  
う内容が良いか? 比べる資料がないがどうすれば良いか?

高須) 27項目は多すぎる。集計が大変だしポイントが分散されてしまう

客観的から始めてはどうか?(不登校の数、いじめの数、家庭での暴力・虐待の数、保護されて  
る数等) その上で主観的質問して二つを見合わせる!

H.T)熊本県は尊厳と生活指数低い。どうすれば良いか？具体的に教えて欲しい。

自己肯定感低いのはどうすれば良いのか？

高須)女性が働きやすい世の中にしなければならない。男性の育児負担を増やすこと。

女性の立場からの声を上げて政治参加をしていく(育児のしやすい社会)

自己肯定感については、社会・学校において、人間を大切にしているか。人間としての価値を認めてくれているか。人権意識があるか。そういうことを思う、感じる世の中でなければ自己肯定感は育たない。子どもの権利条約を小さい時から学ぶ環境が必要！

A.I)温暖化や環境問題は課題がありすぎて自分たちに何が出来るか教えて欲しい

高須)経済や産業構造を変えていかなければならない。永年に渡って私たちがやってしまった結果であり余りにも課題が大きすぎる。だからと言って消費しない、生産しない、ということは便利になりすぎた今は通用しない。声を上げること。身の回りの出来ることをやっていくしかない。

S.F)住みやすいまちづくりのグループに参加している。

○防災で災害のことを考えると人と人とのつながりが大切だと思う。マンションや若い人は仕事で周りの住民との接点が少ないと思うがどうしたらよいか？

高須)最終目標を集約すると女性や子どもにとって住みやすいまち、子どもの権利を守るまちづくりをする地域が人の繋がりを生む！人・交通・地域が助け合う気持ちで、地域住民参加の防災訓練やハザードマップ作製に力を入れることが重要。

S.F)○産廃物処理場が決まらなかったらどう処理するのか？

高須)地域によって対策が違う。住民との対話、説明会、譲歩や認めの確認が必要。

不法投棄が無いように解決策を練っていかなければならない。

A.I)一人一人が地球環境について活動出来ることは？

高須)環境活動家のグレッタさんは自分の意見や主張を繰り返し訴えたことで世界を動かした！

今の状態は「気候変動」ではなく「気候危機」である。このままだと住めなくなる地球を何とか少しでも良い状態にするために、目の前の大人を動かす！人に訴える！声を上げる！ことをやっていかなければならない。

世界的な課題であると同時にそれぞれの地域の課題でもある。地域の力・活動・連携することで結集して大きな力となり地域の意見が国を動かすことになると思うので是非頑張ってもらいたい